

令和6年度 都城市立妻ヶ丘中学校 学校評価シート

4段階評価 4 期待以上（75%～100%） 3 ほぼ期待どおり（50%～74%） 2 やや期待を下回る（25%～49%） 1 改善を要する（0%～24%）

【学校の教育目標】 主体的に学び、心ゆたかに、たくましく伸びる生徒の育成

評価項目		具体的数値目標と達成状況	方策・手立て	アンケート結果 評価 / %		自己評価		結果の考察・分析 (○成果、●課題等)	最終 評価	学校運営協議会委員より (○成果、●課題等)	
						指標別	総合				
1	知育	分かりやすい授業が行われていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果4	○年間5回の授業研究会の実施 ○ICTの有効な活用の推進 ○教員のICT研修の計画的な実施	生徒 4 保護者 3 教職員 3	83.7% 69.8% 71.8%	3	3	○知育において、生徒の評価は高かった。特に授業の分かりやすさや授業への集中度に対する生徒の評価は、83%台と高かった。 ○授業研究実施及びICT研修を今後も継続し、授業力向上に努めていきたい。 ●保護者や教職員は、家庭学習が十分ではないと考えており、生徒との意識の差が非常に大きい。生徒や保護者に対して、家庭学習の目的や重要性を説明するなど家庭での学習習慣をサポートすることも必要である。	3	○授業の分かりやすさなど生徒の評価が高いことは良いことだと思う。生徒との関係性も良好だと思われる。 ●家庭学習の取組み方など、保護者が分からない部分が多いと思う。学校側から効果的なアドバイス等を行っていただき、保護者の意識を変える必要がある。 ●親と子の関係は小さいころからの積み重ねである。親と子のふれあいの時間が減っており、意識して家族で話す時間を設けることも必要ではないか。
		授業に集中していると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上	○学習委員会が主体となった授業態度等の取組 ○学習コンクールの実施 ○家庭で一人一台端末を活用した家庭学習の充実 ○キュビナ活用の推進 ○各教科で家庭学習の具体例を示すなどの取組 ○テスト結果の分析及び対策	生徒 4 保護者 3 教職員 2	83.3% 63.9% 43.6%	3				
		家庭学習をきちんと行えていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果2以上		生徒 3 保護者 2 教職員 1	69.1% 46.3% 7.7%	2				
2	徳育	思いやりの心をもった行動をとっていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上		生徒 4 保護者 4 教職員 2	92.0% 76.5% 48.7%	3	3	○生徒、保護者は、思いやりの心をもった行動及び学校内のきまりの遵守は、高い数値であった。 ○生徒、保護者に関しては、ボランティアへの参加の数値が、低いと感じた。参加する生徒や家庭が固定化されている現状もあると予想されるが、ボランティアの依頼も多く、多方面にわたる地域の活動に参加している。地域との連携を深める素晴らしい活動ができていた。 ○人権教育の観点から、命の大切さを考える日及び妻中人権宣言は意義がある。今後も継続していく。 ●生徒間の発言やSNSの書き込みなどに起因したトラブルも複数発生している。思いやりとい相手の側に立った言動の指導をさらに行っていく必要がある。 ○本年度、SSRが設置されたことで、不登校生徒が、先ずはSSRに登校し、自分のペースで学べる環境が整備された。学級に入りづらい生徒も、SSRで安心して学習している。	3	○生徒については、思いやりの心や規範意識について高い評価である。落ち着いた学校生活が過ごせていると感じる。 ●本を読んでいない子供が多い。人間的成長のために図書館の教育に力を入れたほうが良い。 ○生徒は、ふれあい祭り等によく参加してくれている。ボランティア活動への参加に対する自己評価は、もっと高くていい。 ●公園等の使い方など気になる点もある。「綺麗な場所だからこそ遊ぼう」という気持ちになるといった「考え方」についての部分を教えていったらどうか。
		学校のきまりを守り、よりよい学校生活を送っていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上	○道徳授業の充実 ○道徳授業者の輪番制の導入（学担、副担） ○人権教育充実 ○毎月1日の「命の大切さを考える日」を設定 ○全校生徒で「妻中人権宣言」を唱和 ○妻ボラ手帳を活用し、ボランティア活動を推進 ○いじめ・不登校対策会議（隔週）の実施 ○毎月、いじめアンケートの実施 ○教育相談室の充実 ○SC及びSSWの活用	生徒 4 保護者 4 教職員 3	95.0% 76.3% 53.8%	3				
		あいさつを積極的にしていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果3以上	○いじめ・不登校対策会議（隔週）の実施 ○毎月、いじめアンケートの実施 ○教育相談室の充実	生徒 4 保護者 3 教職員 2	91.7% 69.4% 46.2%	3				
		ボランティアを積極的にしていると思いますか	保護者・生徒・教員のアンケート結果2以上	○南九州大学生の活用 ○関係機関との連携 ○一人一台端末を活用したオンラインでの授業等実施	生徒 2 保護者 2 教職員 3	38.4% 40.0% 53.8%	2				
		悩みや相談があるときに親や教師に話せていると思いますか	保護者・生徒・職員のアンケート結果2以上		生徒 3 保護者 3 教職員 2	68.3% 61.9% 38.5%	3				
3	体育	早寝早起き朝ごはんを心がけ、規則正しい生活をしていますか	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上		生徒 4 保護者 3 教職員 2	75.8% 54.2% 38.5%	3	3	○多くの生徒が部活動へ参加しており、本年度も積極的な活動し、素晴らしい成果を上げている。 ●食事や規則正しい生活については、生徒・保護者・教職員の意識に差がある。特に規則正しい生活については、週末等を長時間利用する生徒も多く、時間管理ができていない生徒も多くなっている。 ●登下校中の交通マナーについては、改善点が多い。大事故に直結する部分であり、並進や斜め横断など、学校・家庭・地域との連携を図り、生徒への啓発を行っていく必要がある。	3	○今年度、本校で行われたスタントマンによる交通安全教室のような指導が、一番効果的だと感じる。 ●自転車のマナーについては、改善が必要である。交差点での一旦停止や並進など今一度注意をお願いしたい。 ○面接指導を行った際に、部活動についての感想や経験を述べる生徒が多い。大会結果や地域への貢献活動等を見て、生徒はとても頑張っていると感じた。
		運動や部活動に積極的に親しんでいますか	保護者・生徒・職員のアンケート結果4	○弁当の日の設定 ○教科体育での補強運動の推進 ○家庭生活での運動等を促進 ○通学路の安全確認・登下校指導 ○自転車通生集会の実施 ○安全点検や授業、部活動でのケガ予防	生徒 4 保護者 3 教職員 4	82.4% 72.6% 79.5%	4				
		交通ルールを守り、安全な登下校を行っていると思いますか	保護者・生徒・職員のアンケート結果3以上		生徒 4 保護者 4 教職員 1	95.0% 78.6% 15.4%	3				
4	ふるさと教育	地域の祭りや清掃活動等に積極的に参加していると思いますか	保護者・生徒・職員のアンケート結果2以上	○生徒会を主体としたボランティア活動の推進 ○学校HPの充実 ○魅力ある学校参観日の計画と運営 ○シグフィ어의登録推進と内容充実 ○学校行事等に地域人材を積極的に活用 ○まちづくり協議会・公民館長会等へ生徒会が参画	生徒 3 保護者 2 教職員 3	50.7% 40.9% 56.4%	3	3	○生徒会を中心として、地域行事に企画の段階から参加し、地域とともに行事を支え盛り上げるのができた。ボランティアを含め、祭りへの参加者も多く、生徒にとっても充実感があつたようである。 ○開かれた学校を目指し、学校HPの更新に力を入れている。1月初旬でのカウンタ数96万件を突破した。また、各学年、学級での通信配付、Sigfyメールでの情報発信を行い、学校の理解に努めている。 ●保護者の認識として、地域とのかかわりという部分で、低い数値である。学校からも積極的に地域の情報を発信できるようにしていきたい。	4	○祭り等で生徒たちがよく加勢してくれている。ここ数年、生徒会を中心とした地域への貢献度が増している。 ○妻ヶ丘地区子供まちづくり協議会に生徒会執行部を任命している。地域の会議に参加し、貴重な意見をもらっている。積極的に企画運営に携わることが素晴らしい。 ●子どもを変えるには保護者の意識も変えなければならない。生徒を通じて保護者の意識を変えたいが、学校への負担が大きくなると思われる。